

# DOWAグループのDX戦略

## ～ものづくりの変革（DOWA Transformation）の推進～

---

**DOWA**ホールディングス株式会社

2022年5月13日

## はじめに

当社グループは前中期計画（中期計画2020）において、基本方針である「成長市場における事業拡大」と「既存ビジネスでの競争力強化」に基づき、成長に向けた施策に取り組んできました。

昨今、企業を取り巻く社会環境、事業環境は大きく変化してきており、企業には、持続的な経済活動の実現とともに、企業そのものが社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献することが求められています。気候変動対応や日本の労働人口減少といった社会課題も踏まえ、本中期計画（中期計画2024）では、経済的価値、社会的価値の向上を両立する施策を推進し、循環型ビジネスモデルを進化させ続けることにより、企業価値の最大化を図ることを基本方針としました。

その中で、社会や顧客に対しては、リサイクルを代表とする資源循環の強化や素材・技術の提供といった製品・サービスの高付加価値化は重要な課題であり、デジタル技術の急速な進展を踏まえ、データ利活用をさらに加速・高度化し、社会環境・事業環境の変化に柔軟に適応していくことが重要です。そのためには、AIやIoT等のデジタル技術を用いたデータ利活用の推進により、当社グループ事業の根幹をなす、ものづくりを変革し、事業・ビジネスを進化させることが不可欠であると認識しています。こうした認識のもと、2021年度からDX推進のためのプロジェクトチームを組成し、グループをあげたDX推進の準備を進めてきました。

本中期計画では、グループDX基本方針「ものづくりの変革」（DOWA Transformation）のもと、IT基盤整備・セキュリティ強化・DX人材育成により、DXを推進します。DXの一環として2021年度から進めているグループ共通クラウド基盤の構築は、順調に進捗しており、2023年度後半から運用を開始し、各事業で本格的に展開していく予定です。

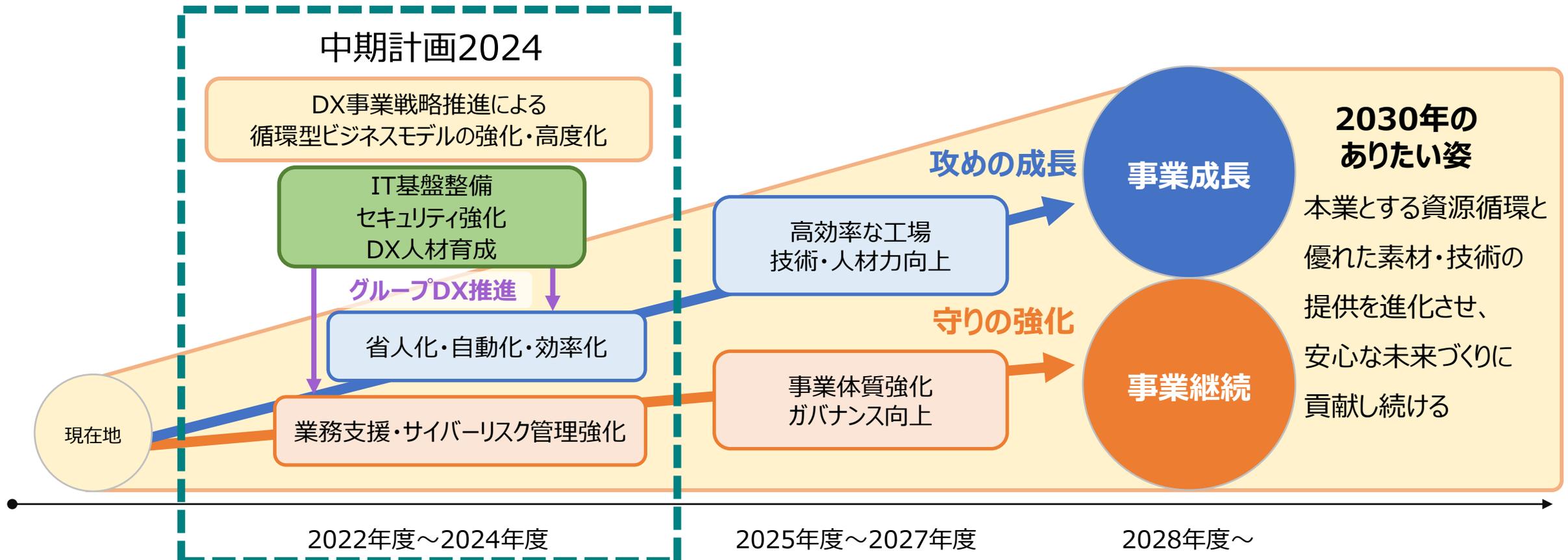
当社グループはDXを活用し、独自の循環型ビジネスモデルを強化・高度化することにより、資源循環と優れた素材・技術の提供を進化させ、安心な未来づくりに貢献し続けていきます。

2022年 5月  
代表取締役社長  
関口 明

## 1. グループDX基本方針

ものづくりの変革（DOWA Transformation）

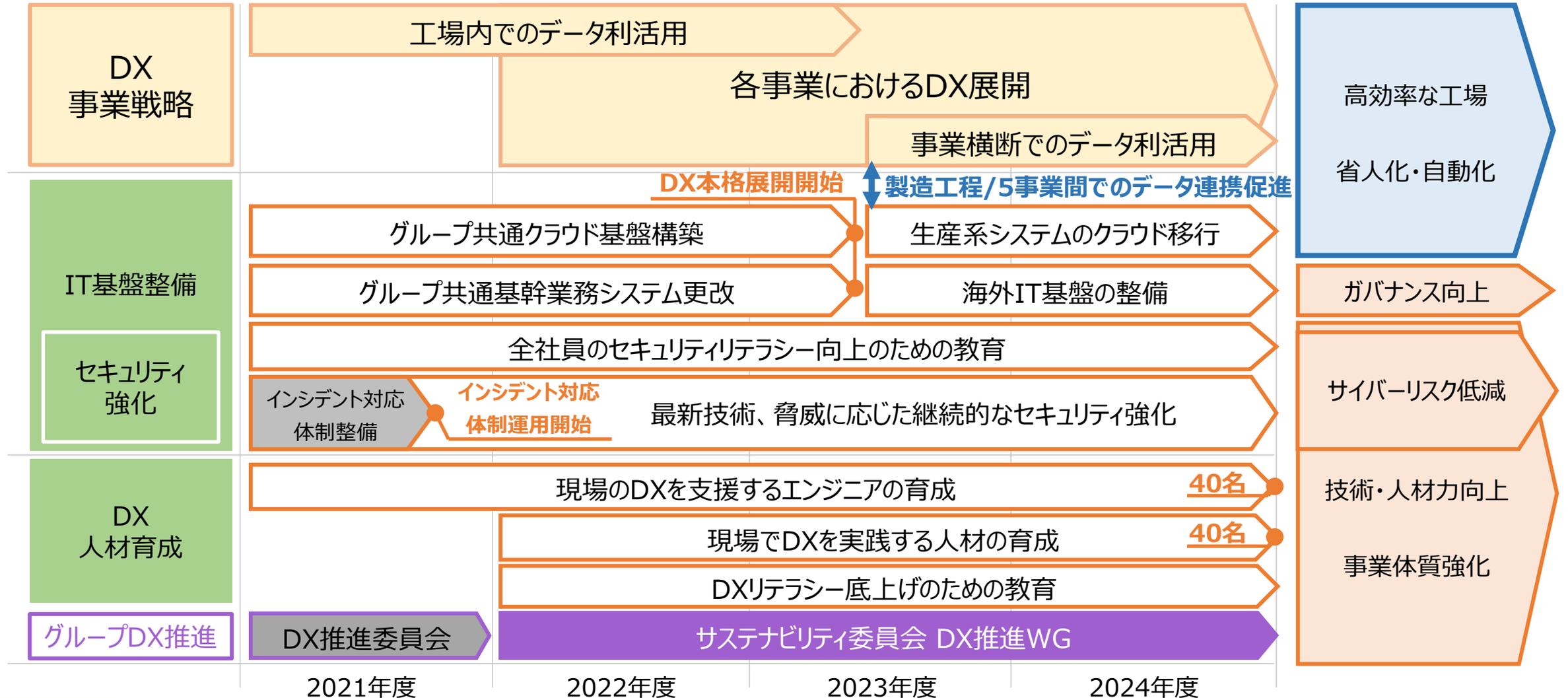
私たちDOWAグループは、デジタル技術を用いたデータ利活用を加速・高度化し、変化への適応力を進化させることにより、本業とする資源循環を強化するとともに、優れた素材・技術の提供力を高めていきます。



## 2. 中期計画2024におけるDX推進

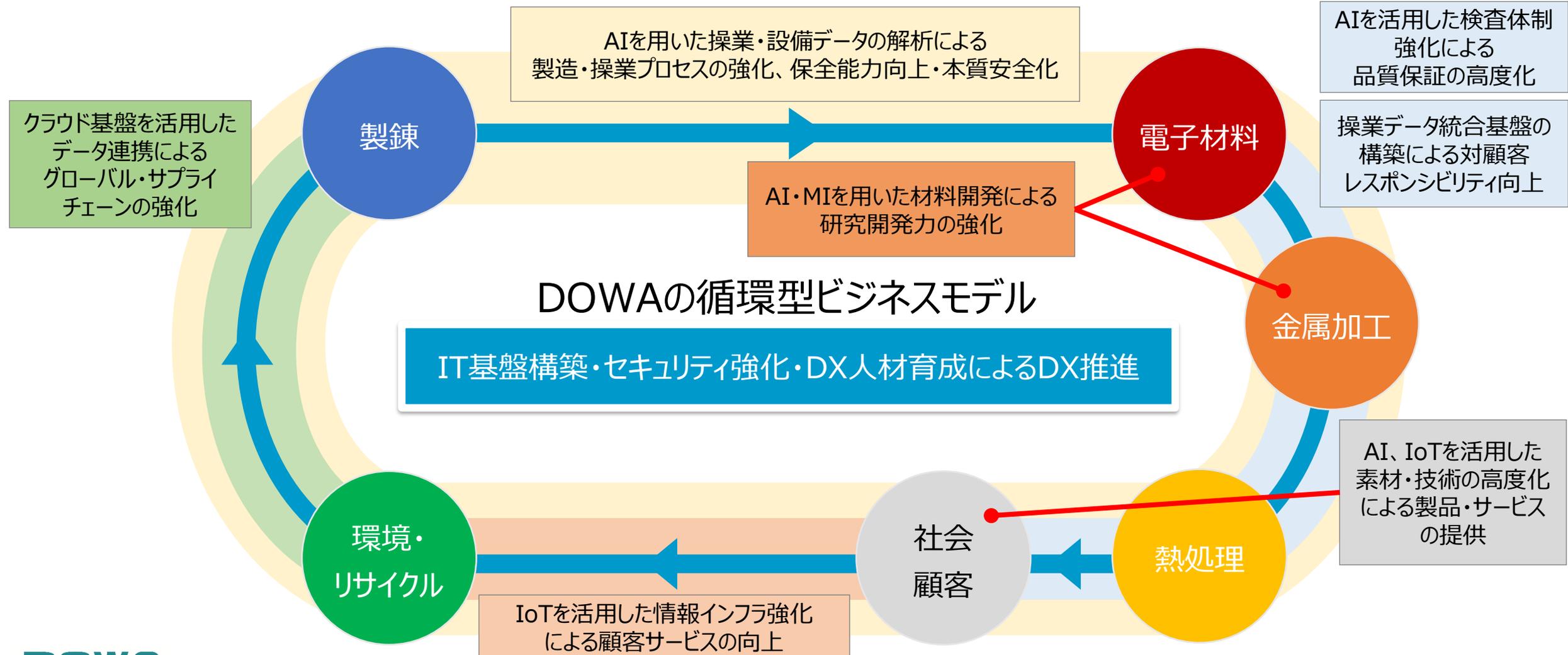
「DX事業戦略」を推進するための重要な施策として「IT基盤整備」「セキュリティ強化」「DX人材育成」を実施し、グループ全体でDXを推進します。

2023年度後半からグループ共通クラウド基盤の運用を開始し、事業を横断したデータ利活用や工程間のデータ連携を促進し、DXを本格的に展開します。



## 3. DX事業戦略①

ものづくりの変革を実現するために、最新のデジタル技術を活用し、当社グループの5つの事業分野からなる独自の循環型ビジネスモデルを強化・高度化していきます。すべての事業で共通となる製造・操業に関するDX施策を展開するとともに、製品・サービス、顧客、サプライチェーン、研究開発等、それぞれの事業分野で強化を図るためのDX施策を展開していきます。



### 3. DX事業戦略②

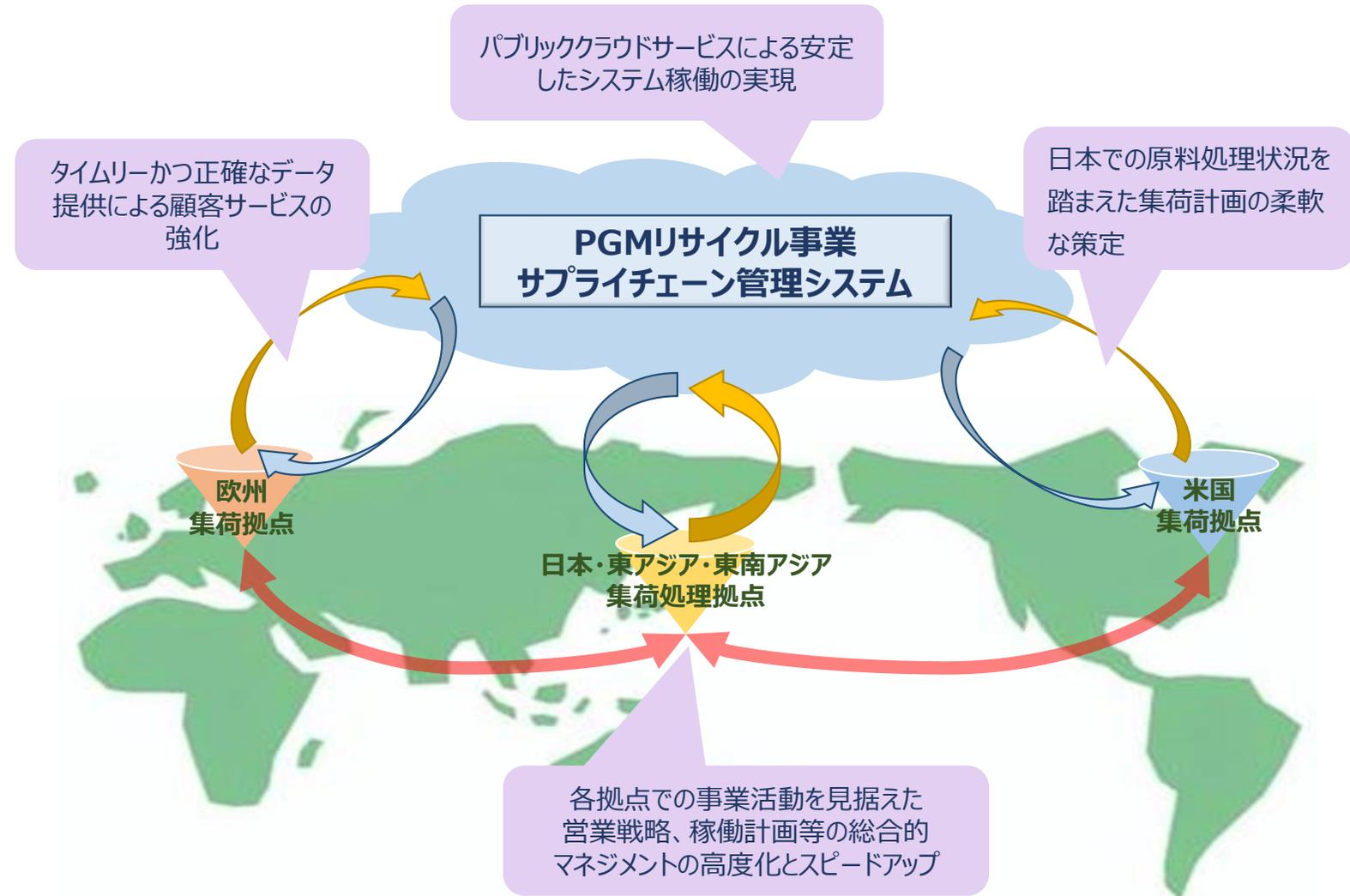
#### 【DX展開事例】白金族金属（PGM）リサイクル事業におけるグローバル・サプライチェーンの強化

白金族金属（PGM）リサイクル事業では、グローバル・サプライチェーン上に点在する原料集荷拠点と、日本の製錬・精製拠点を24時間リアルタイムで繋ぐサプライチェーン管理システムを構築しました。

2021年12月より稼働を開始した同システムは、IT基盤としてパブリッククラウドを採用し、「いつでも、どこからでも、安全に」アクセスすることができます。

同システムの稼働により、グローバル・サプライチェーン上の各地でリアルタイムに実施されている、取引・原料処理・資金管理の状況を各拠点で正確に把握できるようになりました。これにより、グループ内業務の効率化とともにスピードアップを実現しました。

さらには、これらのデータ統合によってデータの整合性が向上したことを受け、取引先であるPGM原料顧客のニーズに沿った詳細なデータ提供も可能となり、さらにきめ細やかな営業活動やサービスの提供につなげています。

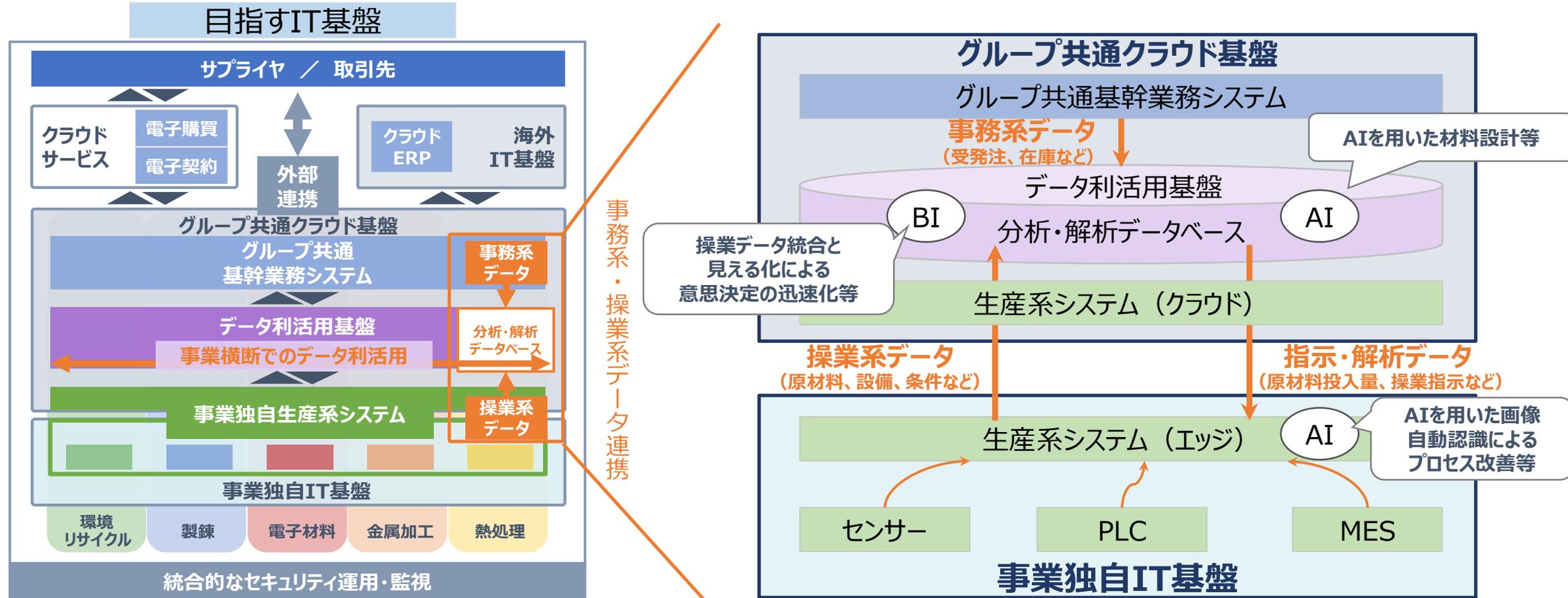


## 4. DX推進のためのIT基盤の構築

DX推進として重要な、グループ全体でのデータ利活用を可能とする新たなIT基盤の構築を進めています。同基盤上にグループ共通の基幹業務システムや事業独自の生産系システムを整備・統合することで、事業を横断したデータ・リソースの連携を容易にし、生産現場のデータ利活用の高度化を図り、DX推進を加速します。

2023年度後半からグループ共通クラウド基盤の運用を開始するとともに、同基盤上に実装するグループ共通基幹業務システムの稼働を開始する予定です。

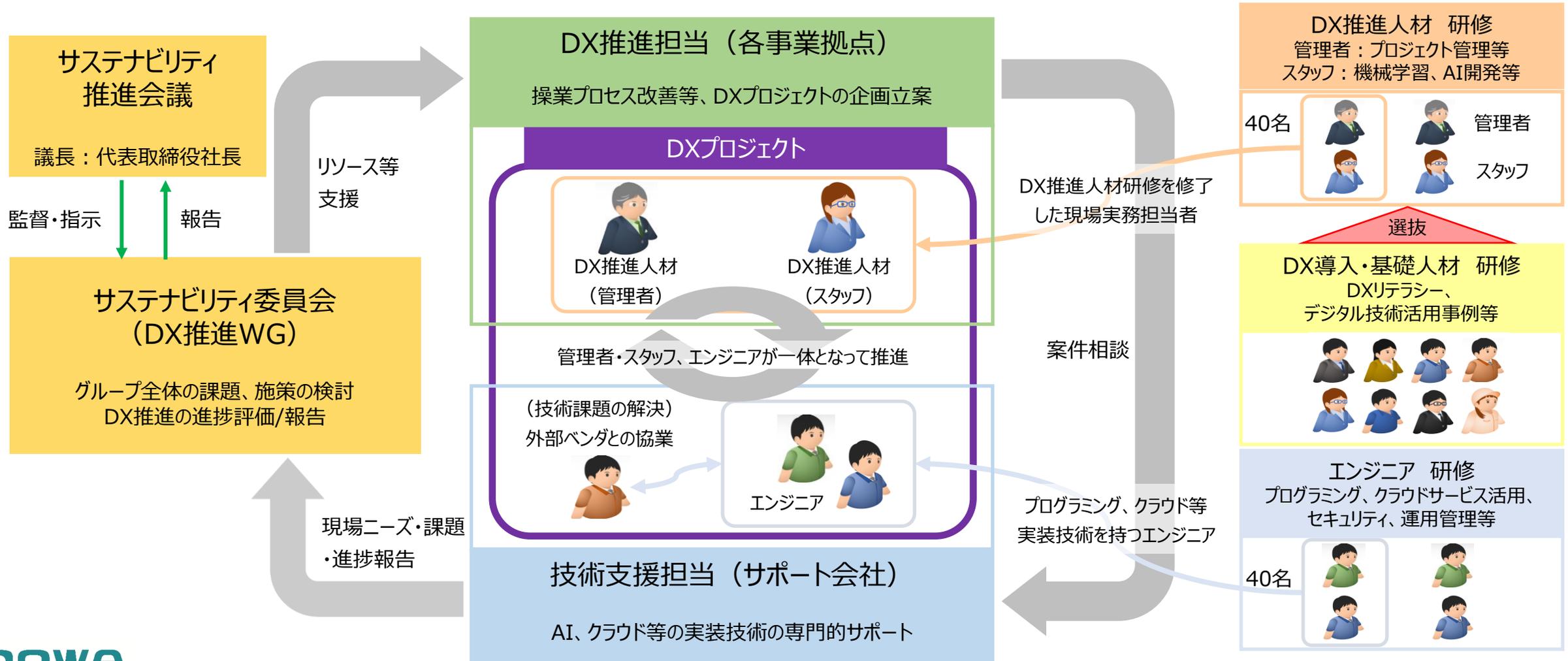
サイバーセキュリティについても、事業拠点や拠点の持つIT基盤の特性を踏まえた技術的対策を実装することで強化を図り、安全なデータ利活用を実現します。



## 5. DX推進体制、DX人材育成

2022年4月に、経営に直結した「サステナビリティ委員会 DX推進WG」を組成し、DX推進を加速していきます。DX推進WGでは、AI・IoT等の改善に関する目標を定め、各事業拠点におけるDXプロジェクト等のニーズ・課題・進捗の確認を行いながら、サステナビリティ推進会議による経営の指示に基づきリソース等の支援を行います。

また、DX推進を担う人材の育成を進めていきます。若手社員を主な受講者とする「DX導入・基礎人材 研修」により、グループ全体のDXリテラシーを底上げするとともに、各事業拠点でDX推進を行う「DX推進人材」と、これらのDX推進を技術面から支援する「エンジニア」を、2024年度末までに各40名、計80名育成します。



# DOWA

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。